

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010201030100		事業の種類	4		
年度	25	事務事業名	学校給食運営事業		予算事業名	学校給食運営事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		家庭・地域・学校が連携し健康な子どもを育てる			担当課長	能本 英樹	担当者名	宮本 真由子
取組み事項		学校給食の充実と食育の推進を図る			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		学校給食食育推進事業			学校給食運営事業			
		学校給食衛生設備導入事業						
根拠法規及び関連法規		学校給食法(昭和二十九年六月三日法律第百六十号)						
事業の目的	誰のために(具体的に)	幼稚園、小中学校の園児、児童、生徒及び保護者						
	誰(何)を対象として	園児、児童、生徒の健康増進、保護者の負担軽減						
	意図(どのような状態にしたいのか)	学校給食による園児、児童、生徒の体と心の健全な育成						

2 事業の概要 Do

実施の概要		幼稚園から栄養バランスのとれた学校給食を無料で提供する。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	給食実施回数	回	183	183	184	184	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	8,292	8,348	101	12,208	146	8,220	67	
	臨時職員	20,544	21,546	105	17,356	81	22,172	128	
支出内訳	人件費	113,997,492	116,561,926	102	136,526,222	117	122,367,653	90	
	事業費	138,172,091	136,852,200	99	121,160,151	89	140,318,000	116	
	合計	252,169,583	253,414,126	100	257,686,373	102	262,685,653	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金		159,577	-		0		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	252,169,583	253,254,549	100	257,686,373	102	262,685,653	102	
	合計	252,169,583	253,414,126	100	257,686,373	102	262,685,653	102	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		給食喫食者数							
指標説明(式)		給食喫食園児・児童・生徒数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	2,656	2,586	97.4	2,513	97.2	2,580	102.7	
	実績	2,655	2,585	97.4	2,513	97.2			
指標名2		給食無料化による経費							
指標説明(式)		給食費を無料化したことによる保護者の負担軽減額							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	-	-	-	-	-	-	-	
	実績	98,400,884	98,573,164	100.2	97,752,119	99.2			

【効率性】

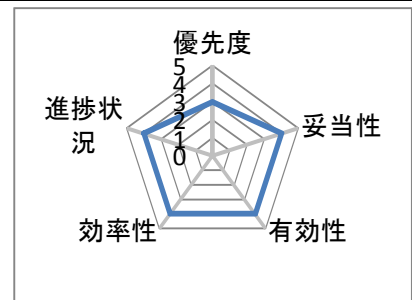
指標名1		給食の実施割合							
指標説明(式)		給食実施日数÷授業日数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	92.5	92.96	100.5	92.96	100.0	92.96	100.0	
	実績	91.5	91.96	100.5	92.46	100.5			
指標名2		新メニュー導入数							
指標説明(式)		給食へ新メニューを導入した品目数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
品	目標	-	-	-	-	-	-	-	
	実績	6	3	50.0	19	633.3			

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	地産地消を推進し、県内生産の食材を多く取り入れるなど、安全で健康的な給食が実施できた。	4
	市民サービス	平成23年9月から始まった幼稚園給食を、平成24年度は5月から実施し、園児の健全育成を推進した。	
効率性	執行体制の効率性	配送車等備品を充実することで、給食調理・配送体制の強化を図った。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	給食調理室調理機器備品等の充実



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	真空冷却機を導入するなど、調理機器備品等の充実を図る。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010201040100	事業の種類	5
年度	25	事務事業名	学校支援地域本部事業	予算事業名	学校支援地域本部事業
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課	
施策名(中)	家庭・地域・学校が連携し健康な子どもを育てる		担当課長	西角 隆行	担当者名
取組み事項	家庭・地域・学校の連携を深める		実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	小学校児童、中学校生徒			
	誰(何)を対象として	小学校児童、中学校生徒			
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域住民による学校支援活動を行い、地域全体で学校教育を支援する体制を整備する			

2 事業の概要 Do

実施の概要	学校支援ボランティアの活動により、学校教育を支援する					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	実施小中学校数	学校数	10	10	10	10
	ボランティア登録者数	人	686	701	895	950

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.068	0.068	100	0.076	112	0.120	158	
	臨時職員	0.544	0.544	100	0.560	103	0.440	79	
支出内訳	人件費	2,129,012	2,139,400	100	2,268,502	106	2,399,789	106	
	事業費	295,481	213,871	72	193,400	90	207,000	107	
	合計	2,424,493	2,353,271	97	2,461,902	105	2,606,789	106	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	667,000	609,000	91	491,000	81	393,000	80	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,757,493	1,744,271	99	1,970,902	113	2,213,789	112	
合計	2,424,493	2,353,271	97	2,461,902	105	2,606,789	106		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		実施小中学校数							
指標説明(式)		学校数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
学校数	目標	10	10	100.0	10	100.0	10	100.0	
	実績	10	10	100.0	10	100.0			
指標名2		ボランティア登録者数							
指標説明(式)		ボランティア登録者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	700	720	102.9	700	97.2	950	135.7	
	実績	686	701	102.2	895	127.7			

【効率性】

指標名1		実施校一校あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷実施学校数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	240000	278403	116.0	262064	94.1	260678	99.5	
	実績	242449	235327	97.1	246190	104.6			

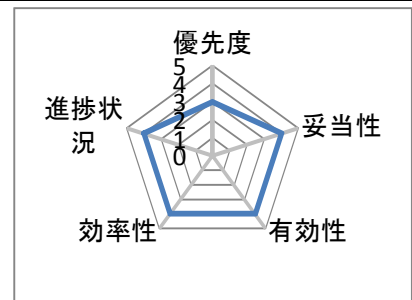
指標名2		登録ボランティア一人あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷ボランティア登録者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	3500	3867	110.5	3743	96.8	2744	73.3	
	実績	3534	3357	95.0	2751	81.9			

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	登録ボランティアは増えている	4
	市民サービス	ボランティアによるさまざまな学校支援活動を通じて、児童生徒への支援を行う	
効率性	手段の最適性	ボランティアの登録は、学校を通じて行った	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	登録ボランティアの確保



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	ボランティアに地域住民が入ることにより、地域の教育力を活性化することができる。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202010100		事業の種類	1		
年度	25	事務事業名	小学校特別支援教育就学奨励事業		予算事業名	小学校特別支援教育就学奨励事業		
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課			
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	宮崎 義正		担当者名	永富 妃美
取組み事項		確かな学力の定着を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		補助金等適正化法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	特別支援学級へ就学する児童の保護者						
	誰(何)を対象として	学費の一部						
	意図(どのような状態にしたいのか)	経済的援助を行う						

2 事業の概要 Do

実施の概要		特別支援学級へ就学する児童の保護者に対して学費の一部を補助し、経済的支援を行う。						
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画		
	対象人員	人	13	10	9	22		

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.106	0.108	102	0.100	93	0.084	84	
	臨時職員	0.000	0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	1,152,254	1,141,128	99	1,086,030	95	998,793	92	
	事業費	384,035	324,922	85	248,689	77	792,000	318	
	合計	1,536,289	1,466,050	95	1,334,719	91	1,790,793	134	
財源内訳	国庫支出金	133,600	110,500	83		0		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,402,689	1,355,550	97	1,334,719	98	1,790,793	134	
合計	1,536,289	1,466,050	95	1,334,719	91	1,790,793	134		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	成果は達成している。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	法令の意図する状態に合致している。	
効率性	コストの節減	国庫補助基準を準用しているため、減額は不可。	4
	執行体制の効率性	学校及び学校教育課との連携が不可欠。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

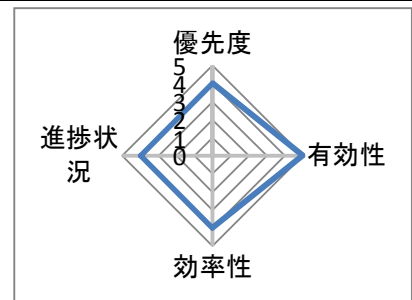
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	平成26年度消費税改定に伴う国庫補助額の改正があり、補助対象者において、再度周知する必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	補助額の改正後、速やかに各学校及び補助対象者へ周知する。



配点	25
総合評価	21

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202010200		事業の種類	1	
年度	25	事務事業名	中学校特別支援教育就学奨励事業	予算事業名	中学校特別支援教育就学奨励事業	優先度	4
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課		
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	宮崎 義正	担当者名	永富 妃美
取組み事項		確かな学力の定着を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		補助金等適正化法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	特別支援学級へ就学する生徒の保護者					
	誰(何)を対象として	学費の一部					
	意図(どのような状態にしたいのか)	経済的援助を行う					

2 事業の概要 Do

実施の概要		特別支援学級へ就学する生徒の保護者に対して学費の一部を補助し、経済的支援を行う。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	対象人員	人	2	5	7	12	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.106	0.108	102	0.100	93	0.084	84	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	1,152,254	1,141,128	99	1,086,030	95	998,793	92	
	事業費	83,400	236,700	284	279,636	118	638,000	228	
	合計	1,235,654	1,377,828	112	1,365,666	99	1,636,793	120	
財源内訳	国庫支出金	33,400	80,500	241	-	0	-	-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,202,254	1,297,328	108	1,365,666	105	1,636,793	120	
合計	1,235,654	1,377,828	112	1,365,666	99	1,636,793	120		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	成果は達成している。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	法令の意図する状態に合致している。	
効率性	コストの節減	国庫補助基準を準用しているため、減額は不可。	4
	執行体制の効率性	学校及び学校教育課との連携が不可欠。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

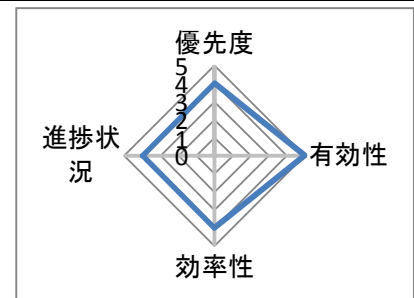
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	平成26年度消費税改定に伴う国庫補助額の改定があり、補助対象者において、再度周知する必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	補助額の改正後、速やかに各学校及び補助対象者へ周知する。



配点	25
総合評価	21

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202010300		事業の種類	4	
年度	25	事務事業名	指定教育等研究研修事業	予算事業名	指定教育等研究研修事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	能本 英樹	担当者名	松尾 理恵
取組み事項		確かな学力の定着を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		指定教育等研究研修事業					
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	小・中学校の児童・生徒及び教諭					
	誰(何)を対象として	小・中学校の児童・生徒及び教諭					
	意図(どのような状態にしたいのか)	教諭の研修による資質の向上による適正な学校管理運営を図る。障害児用・教師用教科書図書を補充する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		小中学校児童・生徒、障害児の教育指導及び教師の研修による資質の向上を図り、適正な学校管理運営を推進する。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	研修会	回	78	107			
	参加人数	人	6452	5420			

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.216	0.168	78	0.140	83	0.140	100	
	臨時職員	0.000	0.008	-	0.012	150	0.012	100	
支出内訳	人件費	2,020,704	1,623,792	80	1,422,802	88	1,478,853	104	
	事業費	8,212,096	5,760,793	70	1,349,833	23	300,000	22	
	合計	10,232,800	7,384,585	72	2,772,635	38	1,778,853	64	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	10,232,800	7,384,585	72	2,772,635	38	1,778,853	64	
合計	10,232,800	7,384,585	72	2,772,635	38	1,778,853	64		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		研修会1回当たりの参加者数							
指標説明(式)		参加述べ人数/実施回数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	65	65	100.0	60	92.3		0.0	
	実績	83	51	61.4		0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		研修会1回当りのコスト							
指標説明(式)		決算額÷研修回数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	12000	12666	105.6	11000	86.8		0.0	
	実績	14615	10654	72.9		0.0			

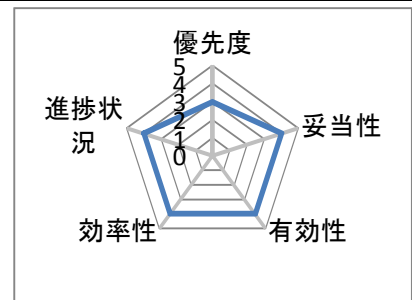
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	計画的な研修の実施により教職員の資質向上に有効であった。	4
	市民サービス	保護者の要望等に対応できる教職員の資質向上に貢献できた。	
効率性	執行体制の効率性	教職員それぞれが効率よく職務を遂行できる体制の確立を図ることができた。	4
	手段の最適性	研究・研修により自主的な資質向上が図れた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	より効果的な研修等の実施。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	地域人材の活用を図り、学校教育課、学校と連携し研修内容の拡充を図る。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202010700		事業の種類	3	
年度	25	事務事業名	小学校一般事務経費		予算事業名	教育振興費事務経費 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会学校教育課	
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する			担当課長	能本 英樹 担当者名 森田 敏雄	
取組み事項		確かな学力の定着を図る			実施計画への記載	無 主要事業の指定 無	
実施計画事業名		教育用パソコン更新					
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	小学校児童					
	誰(何)を対象として	小学校児童					
	意図(どのような状態にしたいのか)	小学校児童の学習能力の向上と学習意欲の高揚を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		読書感想文、科学研究記録の審査・表彰、運動会、オープンスクールの実施に伴う消耗品の支出、コンピューター、インターネット維持管理					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.264	0.256	97	0.164	64	0.260	159	
	臨時職員	0.196	0.184	94	0.164	89	0.180	110	
支出内訳	人件費	2,859,676	2,726,432	95	1,978,322	73	2,867,109	145	
	事業費	18,823,899	21,200,899	113	19,697,732	93	24,126,000	122	
	合計	21,683,575	23,927,331	110	21,676,054	91	26,993,109	125	
財源内訳	国庫支出金	1,156,157		0		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	20,527,418	23,927,331	117	21,676,054	91	26,993,109	125	
	合計	21,683,575	23,927,331	110	21,676,054	91	26,993,109	125	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	小学校児童の学習能力の向上と学習意欲の高揚を図れた。	4
	組織運営・適正管理	学校教育における適正予算の配分及び執行が適正に行われた。	
効率性	手段の最適性	予算執行が適正に行われた。	4
	執行体制の効率性	各学校において予算執行が効率的に行われた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

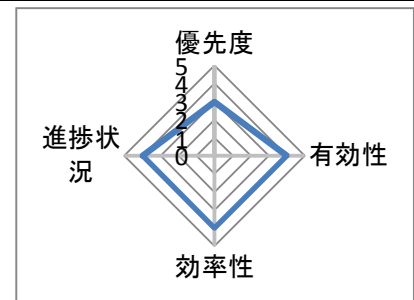
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	より適正な予算の執行。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	効率的な予算の執行体制の確立。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202010900		事業の種類	3		
年度	25	事務事業名	中学校一般事務経費		予算事業名	教育振興費事務経費 優先度 3		
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課			
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	能本 英樹		担当者名	森田 敏雄
取組み事項		確かな学力の定着を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	中学校生徒						
	誰(何)を対象として	中学校生徒						
	意図(どのような状態にしたいのか)	中学校生徒の学習能力の向上と学習意欲の高揚を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		読書感想文、科学研究記録の審査・表彰、運動会、オープンスクール、の実施及び音楽会参加に伴う消耗品等の支出、コンピューター、インターネット維持管理							
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画			

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.264	0.284	108	0.172	61	0.180	105	
	臨時職員	0.196	0.184	94	0.164	89	0.180	110	
支出内訳	人件費	2,859,676	2,942,704	103	2,039,818	69	2,224,629	109	
	事業費	12,885,706	11,867,529	92	10,315,224	87	10,732,000	104	
	合計	15,745,382	14,810,233	94	12,355,042	83	12,956,629	105	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	1,578,743		0		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	14,166,639	14,810,233	105	12,355,042	83	12,956,629	105	
	合計	15,745,382	14,810,233	94	12,355,042	83	12,956,629	105	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	中学校生徒の学習能力の向上と学習意欲の高揚を図れた。	4
	組織運営・適正管理	学校教育における適正予算の配分及び執行が適正に行われた。	
効率性	手段の最適性	予算執行が適正に行われた。	4
	執行体制の効率性	各学校において予算執行が効率的に行われた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

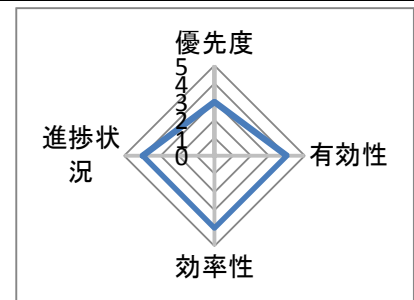
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	より適正な予算の執行。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	効率的な予算の執行体制の確立。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202011100		事業の種類	4	
年度	25	事務事業名	中学校外国人英語指導助手招致事業		予算事業名	外国人英語指導助手招致事業	
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課			
施策名(中)	たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	能本 英樹	担当者名	石堂 賀人	
取組み事項	確かな学力の定着を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	中学校生徒					
	誰(何)を対象として	中学校生徒					
	意図(どのような状態にしたいのか)	中学校での実践的な英語学習を推進し、生徒の英語力の向上を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		中学校での実践的な英語学習を推進し、生徒の英語力の向上を図る。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	実施日数	日	220	222	220	225

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.368	0.424	115	0.364	86	0.336	92	
	臨時職員	0.015	0.012	80	0.036	300	0.040	111	
支出内訳	人件費	3,255,949	3,610,748	111	3,203,274	89	3,123,685	98	
	事業費	4,981,839	5,290,458	106	4,596,330	87	5,936,000	129	
	合計	8,237,788	8,901,206	108	7,799,604	88	9,059,685	116	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	8,237,788	8,901,206	108	7,799,604	88	9,059,685	116	
合計	8,237,788	8,901,206	108	7,799,604	88	9,059,685	116		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		学校における外国人英語指導助手の勤務日数							
指標説明(式)		外国人英語指導助手の勤務日数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
日	目標	225	225	100.0	225	100.0	225	100.0	
	実績	220	222	100.9	220	99.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

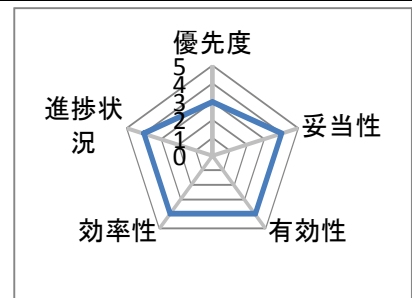
指標名1		生徒1人のコスト							
指標説明(式)		決算額÷生徒人数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標	7197	7421	103.1	7682	103.5	8408	109.5	
	実績	6135	6731	109.7	6254	92.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	生徒への効果的な英語指導が実施できた。	4
	市民サービス	生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上を図ることができた。	
効率性	手段の最適性	外国人英語指導助手による生の英語学習を効率的に実施することができた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	外国人英語指導助手による活動を有効的に実施し、生徒の英語力の向上を図る。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	外国人英語指導助手による活動を有効に行うなど、効率的な活用を図る。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202011300	事業の種類	4	
年度	25	事務事業名	ぐんぐん学力アップ事業	予算事業名	ぐんぐん学力アップ事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課	
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	能本 英樹	
取組み事項		確かな学力の定着を図る		担当者名	石堂 賀人	
		実施計画への記載		無	主要事業の指定	無
実施計画事業名						
根拠法規及び関連法規						
事業の目的	誰のために(具体的に)	小中学校の児童・生徒				
	誰(何)を対象として	小中学校の児童・生徒				
	意図(どのような状態にしたいのか)	児童生徒の学力の状況を把握し、各小・中学校で学力向上の取組みを推進する。				

2 事業の概要 Do

実施の概要		全国レベルの標準学力検査(小学校4、6年 国語・算数、中学校2年 国語・数学・英語)を実施し、児童生徒の学力の状況を把握・分析しながら、各小中学校での学力向上の取組みを推進する。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	対象者数	人		711	699	662

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.024	-	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員		0.200	-	0.188	94	0.252	134	
	臨時職員		0.008	-	0.008	100	0.008	100	
支出内訳	人件費		1,870,960	-	1,782,014	95	2,368,217	133	
	事業費		639,200	-	563,150	88	1,006,000	179	
	合計		2,510,160	-	2,345,164	93	3,374,217	144	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源		2,510,160	-	2,345,164	93	3,374,217	144	
合計		2,510,160	-	2,345,164	93	3,374,217	144		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		児童・生徒一人当たりのコスト							
指標説明(式)		決算額÷児童・生徒数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-	977	-	1520	155.6	
	実績		899	-	806	89.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

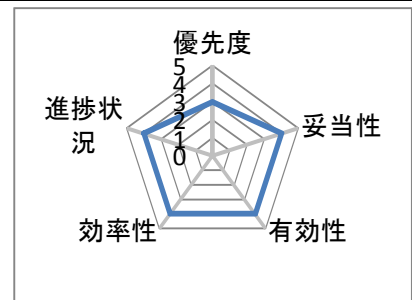
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	児童・生徒の状況を把握し、学習能力の向上を図ることに努めた	4
効率性	執行体制の効率性	標準学力検査を利用し、効果的に児童・生徒の学力向上を図る。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	児童・生徒の状況に応じた学力向上を図る。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	より有効な学力向上の取り組みを推進する。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202011500	事業の種類	4
年度	25	事務事業名	学校図書館充実事業	予算事業名	重点分野雇用創造事業 優先度
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課	
施策名(中)	たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	能本 英樹	担当者名
取組み事項	確かな学力の定着を図る		実施計画への記載	有	主要事業の指定
実施計画事業名	学校図書館活性化事業(ハード)		学校図書館活性化事業		
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	小中学校の児童・生徒			
	誰(何)を対象として	小中学校の児童・生徒			
	意図(どのような状態にしたいのか)	学校図書館を学校における「調べ学習」の拠点として、整備することにより、子ども達の「読解力」「問題解決力」を培い、豊かな心を育ませることを目的とする。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		小・中学校図書館に業務従事者を配置して、図書の整備や子どもの図書への相談相手などを行い、学校図書館を親しみやすくする。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	従事者配置校数			10校	10校	10校

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.024	-	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員		0.116	-	0.108	93	0.056	52	
	臨時職員		0.012	-	0.016	133	0.016	100	
支出内訳	人件費		1,231,756	-	1,186,582	96	814,357	69	
	事業費		4,200,000	-	3,760,000	90	2,032,000	54	
	合計		5,431,756	-	4,946,582	91	2,846,357	58	
財源内訳	国庫支出金		4,200,000	-		0		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源		1,231,756	-	4,946,582	402	2,846,357	58	
合計		5,431,756	-	4,946,582	91	2,846,357	58		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		小学校貸出冊数							
指標説明(式)		各小学校図書室貸出冊数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
冊	目標		30000	-	30000	100.0	30000	100.0	
	実績		37828	-	40276	106.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

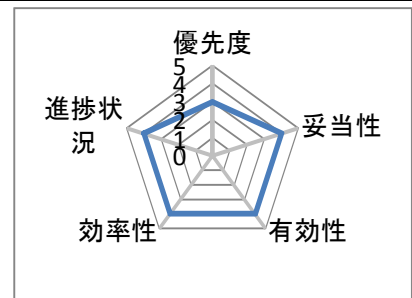
指標名1		業務従事者勤務日数							
指標説明(式)		業務従事者の勤務日数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
日	目標		170	-	150	88.2	115	76.7	
	実績		165	-	152	92.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	学校図書館を児童・生徒がより親しみやすい場所へと思うようになった。	4
効率性	執行体制の効率性	専属の業務従事者を配置することにより、効率的に図書の整備、児童への図書の相談を行うことができた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	7人の業務従事者を効率的に、小・中学校に配置し、学校図書館の整備を行う。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	より少ない時間で効率的に学校図書館の整備を行う。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	0102020200	事業の種類	4
年度	25	事務事業名	ふれあいものづくり事業	予算事業名	ふれあいものづくり事業 優先度
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課	
施策名(中)	たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	能本 英樹	担当者名 松尾 理恵
取組み事項	豊かな心の育成を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	小学校児童と高校生			
	誰(何)を対象として	小学校児童と高校生			
	意図(どのような状態にしたいのか)	小学校児童と高等学校生徒との協働してのものづくりにより、こころ豊かな人間形成を図り、高校生の指導力の向上及びものづくりを通して物の大切さ・想像力を育む。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		各小学校6年生が総合的な学習や理科等の授業時間に相生産業高等学校の生徒の指導を受けながら、ものづくりに挑む。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.196	0.203	104	0.152	75		0	
	臨時職員	0.000	0.008	-	0.008	100		0	
支出内訳	人件費	1,862,804	1,894,132	102	1,505,282	79	324,189	22	
	事業費	150,000	150,000	100	125,000	83		0	
	合計	2,012,804	2,044,132	102	1,630,282	80	324,189	20	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,012,804	2,044,132	102	1,630,282	80	324,189	20	
合計	2,012,804	2,044,132	102	1,630,282	80	324,189	20		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

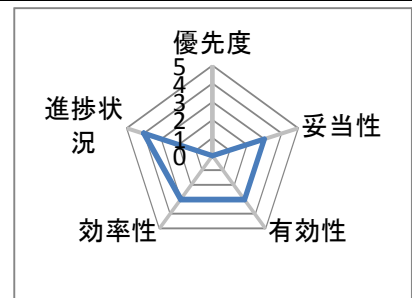
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	小学校児童と高等学校生徒とのものづくりをととして、こころ豊かな人間形成を図った。	3
	期待する目標	子ども達自身に製作意欲を持たせ、高等学校生徒と協働してものづくりに取り組むことができた。	
効率性	コストの節減	製作コスト削減に努め、必要最低限の費用で実施した。	3
	手段の最適性	子ども達自身に製作意欲を持たせ、限られた時間の中で積極的に取り組めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	県事業としては廃止の方向であり、事業の継続は難しい。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
		平成26年度より廃止。

配点	32.5
総合評価	14.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202020300		事業の種類	5		
年度	25	事務事業名	小学校体験活動事業		予算事業名	小学校体験活動事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課			
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	能本 英樹	担当者名	松尾 理恵	
取組み事項		豊かな心の育成を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	小学校児童3年生・5年生						
	誰(何)を対象として	小学校児童3年生・5年生						
	意図(どのような状態にしたいのか)	児童が人や自然、地域社会と触れあい、さまざまな体験活動とおし自分で考え問題解決する力、生命への思いやりの心を育み、生きる力を育成することを目的とする。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		児童が人や自然、地域社会と触れあい、さまざまな体験活動とおし自分で考え問題解決する力、生命への思いやりの心を育み、生きる力を育成する。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	参加数	人	467	441	438	450	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.284	0.292	103	0.260	89	0.268	103	
	臨時職員	0.000	0.004	-	0.012	300	0.012	100	
支出内訳	人件費	2,557,564	2,571,956	101	2,345,242	91	2,506,821	107	
	事業費	6,570,000	6,570,000	100	6,570,000	100	6,620,000	101	
	合計	9,127,564	9,141,956	100	8,915,242	98	9,126,821	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	3,272,000	3,272,000	100		0		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,855,564	5,869,956	100	8,915,242	152	9,126,821	102	
合計	9,127,564	9,141,956	100	8,915,242	98	9,126,821	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

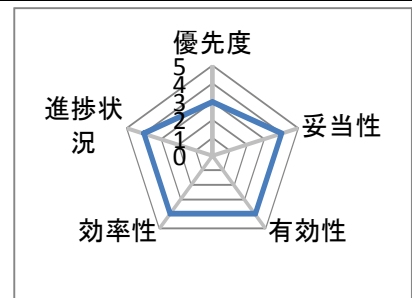
指標名1		児童1人のコスト							
指標説明(式)		決算額÷参加児童数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	14069	14898	105.9	14898	100.0	14711	98.7	
	実績	14069	14898	105.9	15000	100.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	多くの児童が自然に接することにより、自立への高揚を図れた。	4
	期待する目標	さまざまな社会体験を得ることにより、社会に優しい人間としての育成を図ることができた。	
効率性	執行体制の効率性	計画的に行事を実施することにより、適正な実施をすることができた。	4
	手段の最適性	期間、場所など最適の環境の中で実施された。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	効率的な事業計画・予算執行に努める。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	各校の状況に応じた予算の配分。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202020400	事業の種類	4	
年度	25	事務事業名	心豊かな体験活動推進事業	予算事業名	心豊かな体験活動推進事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名 教育委員会学校教育課		
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	能本 英樹	
取組み事項		豊かな心の育成を図る		担当者名	石堂 賀人	
実施計画事業名				実施計画への記載	無	
根拠法規及び関連法規		主要事業の指定				無
事業の目的	誰のために(具体的に)	小・中学校の児童・生徒				
	誰(何)を対象として	小・中学校の児童・生徒				
	意図(どのような状態にしたいのか)	児童・生徒の社会体験により社会的自立の高揚と健全育成を目的とする。				

2 事業の概要 Do

実施の概要		心肺蘇生法実践研修、トライやるウィーク事業による社会体験実施により、自分を見つめ、他人を思いやる心情を育てるとともに、自律性を高め、「生きる力」を育む。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	トライやるウィーク	人	271	251	262	220

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.200	0.200	100	0.152	76	0.152	100	
	臨時職員	0.000	0.004	-	0.020	500	0.020	100	
支出内訳	人件費	1,894,384	1,861,348	98	1,534,574	82	1,595,441	104	
	事業費	1,830,450	1,798,678	98	2,052,038	114	1,871,000	91	
	合計	3,724,834	3,660,026	98	3,586,612	98	3,466,441	97	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	1,350,000	105,000	8	1,200,000	1,143	900,000	75	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,374,834	3,555,026	150	2,386,612	67	2,566,441	108	
	合計	3,724,834	3,660,026	98	3,586,612	98	3,466,441	97	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		トライやるウィークアンケート結果(生徒)							
指標説明(式)		充実感を感じた者数÷生徒数(2年生)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	90	90	100.0	90	100.0	90	100.0	
	実績	91	93	102.2	93	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

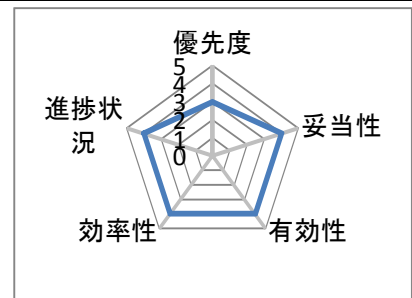
指標名1		トライやるウィークアンケート結果(事業者)							
指標説明(式)		生徒に変化が見られたと感じた事業者数/事業者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	60	60	100.0	60	100.0	60	100.0	
	実績	59	53	89.8	79	149.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	生徒の社会体験としては十分に目標達成している。	4
	市民サービス	市民の協力の下に教育の一環として機能している。	
効率性	手段の最適性	1週間の限られた期間内に成果があった。	4
	手段の最適性	短期間のため、安全面等考慮したものとしては、充分である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	短期間に効率的に成果を上げる工夫が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	限られた期間の間に、地域住民・事業者と連携して効果的に実施する。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202020500		事業の種類	4	
年度	25	事務事業名	適応教室事業		予算事業名	適応教室事業	
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課			
施策名(中)	たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	能本 英樹		担当者名	石堂 賀人
取組み事項	豊かな心の育成を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	小・中学校の児童・生徒					
	誰(何)を対象として	小・中学校の児童・生徒					
	意図(どのような状態にしたいのか)	小・中学校の不登校児童・生徒の指導・援護による学校復帰を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		小・中学校の不登校児童・生徒に学習の援助をしながら、学校復帰へ導く。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	教育相談	件	23	16	13	15	
	ふれあい教室	回	6	6	6	6	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.196	0.196	100	0.172	88	0.172	100	
	臨時職員	0.000	0.012	-	0.012	100	0.012	100	
支出内訳	人件費	1,862,804	1,849,676	99	1,668,786	90	1,735,845	104	
	事業費	2,117,097	2,029,831	96	1,997,143	98	2,565,000	128	
	合計	3,979,901	3,879,507	97	3,665,929	94	4,300,845	117	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,979,901	3,879,507	97	3,665,929	94	4,300,845	117	
	合計	3,979,901	3,879,507	97	3,665,929	94	4,300,845	117	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ふれあい教室活動							
指標説明(式)		年間活動回数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
回	目標	7	6	85.7	6	100.0	6	100.0	
	実績	6	6	100.0	6	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

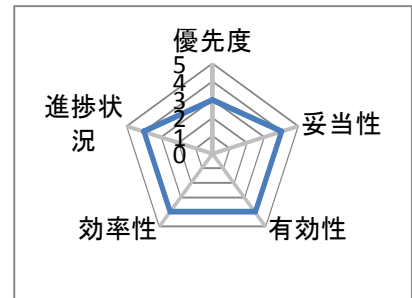
指標名1		教育相談に係る経費							
指標説明(式)		臨床心理士報酬÷年間相談件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
千円	目標	750	750	100.0	1500	200.0	1500	100.0	
	実績	1957	2813	143.7	1154	41.0			
指標名2		活動にかかる経費							
指標説明(式)		ふれあい教室講師報酬÷年間活動回数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	5714	2500	43.8	2500	100.0	2500	100.0	
	実績	2500	2500	100.0	2500	100.0			

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	保護者への理解と協力が得られた。	4
効率性	コストの節減	コストに見合った成果を得た。	4
	手段の最適性	子どもの特徴に応じた悩み相談、勇気付け、ふれあい教室への参加等により、学校復帰を図っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	緊急性・優先性	子どもへの救済は緊急を要し、より適切な相談支援の実施が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	より多くの子どもの学校復帰と勇気づけ。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202020600	事業の種類	4	
年度	25	事務事業名	スポーツ・文化芸術顕彰事業	予算事業名	スポーツ・文化芸術顕彰事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名 教育委員会学校教育課		
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	能本 英樹	
取組み事項		豊かな心の育成を図る		担当者名	森田 敏雄	
		実施計画への記載		無	主要事業の指定	無
実施計画事業名						
根拠法規及び関連法規						
事業の目的	誰のために(具体的に)	小中学校の児童・生徒				
	誰(何)を対象として	小中学校の児童・生徒				
	意図(どのような状態にしたいのか)	成績が顕著な個人・団体に対し、スポーツ・文化芸術顕彰を贈呈することにより、本市のスポーツ、文化芸術の推進を図る。				

2 事業の概要 Do

実施の概要		権威ある大会等において成績が顕著な中学生以下の者に対して、相生っ子ががやき顕彰を贈呈する。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	贈呈数	人・団体			6	6

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.026	-	0.027	104	
	参事以下職員			-	0.008	-	0.008	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費			-	378,826	-	388,437	103	
	事業費			-	20,700	-	60,000	290	
	合計			-	399,526	-	448,437	112	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源			-	399,526	-	448,437	112	
合計			-	399,526	-	448,437	112		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	スポーツ・文化芸術顕彰を贈呈することにより、本市のスポーツ・文化芸術の推進を図った。	4
効率性	手段の最適性	成績の優秀な個人又は団体の適正把握。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

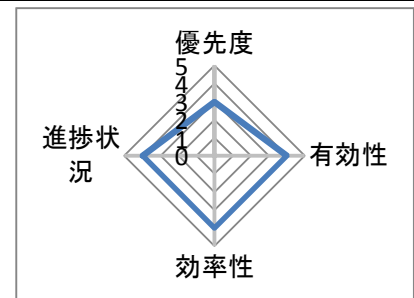
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	受賞資格の把握。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	年度内の受賞資格者の適正把握。



配点	32.5
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202030200		事業の種類	3		
年度	25	事務事業名	クラブ活動運営事業		予算事業名	クラブ活動運営事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課			
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	能本 英樹	担当者名	石堂 賀人	
取組み事項		健やかでたくましい体づくりをする		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	中学校生徒						
	誰(何)を対象として	中学校生徒						
	意図(どのような状態にしたいのか)	クラブ活動をとおり、生徒の協調性、社会生活への適応性を養いながら健全育成を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		放課後クラブ活動をとおり、体力の増進、協調性、想像力の高揚を図ることを目的として日々鍛錬する。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.144	0.144	100	0.096	67	0.096	100	
	臨時職員	0.000	0.004	-	0.032	800	0.032	100	
支出内訳	人件費	1,452,264	1,428,804	98	1,133,394	79	1,176,029	104	
	事業費	2,035,334	2,439,164	120	2,119,663	87	2,781,000	131	
	合計	3,487,598	3,867,968	111	3,253,057	84	3,957,029	122	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,487,598	3,867,968	111	3,253,057	84	3,957,029	122	
	合計	3,487,598	3,867,968	111	3,253,057	84	3,957,029	122	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	クラブ活動をととして、生徒の協調性、社会生活への適応性を養いながら健全育成が図れた。	4
	組織運営・適正管理	クラブにおいて組織体制が適正に運営された。	
効率性	コストの節減	保守委託等により、楽器等の購入費の削減が図れた。	4
	執行体制の効率性	吹奏楽部の活動を市の行事等で発表する場を増やすなど、効率的な活動の実施ができた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

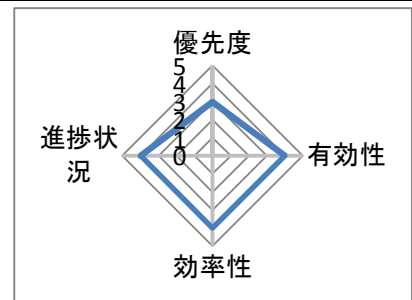
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	用具の消耗に伴う更新

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	リースによる楽器の購入



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202030300	事業の種類	4
年度	25	事務事業名	学校教育ペーロン祭協賛事業	予算事業名	ペーロン祭協賛球技大会事業
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課	
施策名(中)	たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	能本 英樹	担当者名
取組み事項	健やかでたくましい体づくりをする		実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	中学校生徒			
	誰(何)を対象として	中学校生徒			
	意図(どのような状態にしたいのか)	生徒の健康増進を目的として、ペーロン祭の協賛事業として実施する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要	生徒の健康増進を目的としてペーロン祭に西・中播磨の中学校の上位野球部、バレー部を招致し、協賛事業として実施する。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	野球	チーム	15	15	15	15
	バレー	チーム	85	79	82	57

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.172	0.158	92	0.148	94	0.148	100	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	1,673,324	1,527,328	91	1,455,006	95	1,512,777	104	
	事業費	732,000	732,000	100	732,000	100	746,000	102	
	合計	2,405,324	2,259,328	94	2,187,006	97	2,258,777	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,405,324	2,259,328	94	2,187,006	97	2,258,777	103	
合計	2,405,324	2,259,328	94	2,187,006	97	2,258,777	103		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	参加校数								
指標説明(式)	中・西播磨中学校参加校による交流実績								
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
校	目標	100	94	94.0	95	101.1	72	75.8	
	実績	100	94	94.0	97	103.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

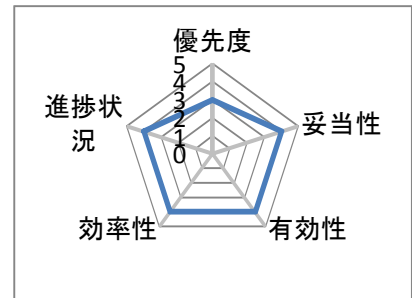
指標名1		参加校数によるコスト							
指標説明(式)		大会経費÷中・西播磨中学校参加校数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	7350	7819	106.4	7737	99.0	10361	133.9	
	実績	7320	7787	106.4	7546	96.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	近隣市町中学生との交流と普段の部活動の成果を発揮し、生徒の健全育成が図れた。	4
	市民サービス	近隣市町中学生との交流と生徒の健全育成が図れた。	
効率性	コストの節減	コストに見合った成果を図れた。	4
	執行体制の効率性	市民体育館が使用できない中、試合会場を適正に確保し、運営することができた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	会場の配置等、より効率的な運営に努める。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	大会による生徒の交流を通して競争意欲の向上と自立の高揚を図る。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202030400		事業の種類	4		
年度	25	事務事業名	学校体育振興事業		予算事業名	学校体育振興事業 優先度 3		
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課			
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	能本 英樹		担当者名	松尾 理恵
取組み事項		健やかでたくましい体づくりをする		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	小・中学校の児童・生徒						
	誰(何)を対象として	小・中学校の児童・生徒						
	意図(どのような状態にしたいのか)	児童・生徒の健康づくり及び体力向上を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		小学校では、校内マラソン大会やなわとび検定及び泳力検定等により、中学校では、運動部活動や体育大会への参加等により、児童生徒の健康及び体力づくりを推進する。						
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画		

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.180	0.180	100	0.144	80	0.144	100	
	臨時職員	0.000	0.012	-	0.012	100	0.012	100	
支出内訳	人件費	1,736,484	1,726,092	99	1,453,550	84	1,510,977	104	
	事業費	5,303,270	3,294,580	62	3,878,540	118	4,903,000	126	
	合計	7,039,754	5,020,672	71	5,332,090	106	6,413,977	120	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	7,039,754	5,020,672	71	5,332,090	106	6,413,977	120	
合計	7,039,754	5,020,672	71	5,332,090	106	6,413,977	120		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		県大会以上の大会出場状況							
指標説明(式)		中学校生徒の県大会以上の大会出場による普段の部活動成果の向上の把握							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	8	8	100.0	10	125.0	10	100.0	
	実績	10	16	160.0	22	137.5	\	\	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

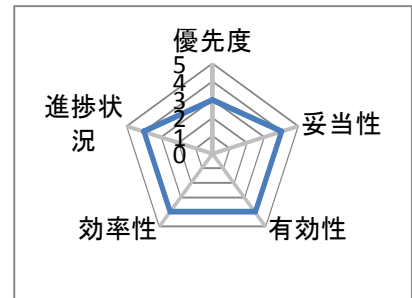
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	児童・生徒の健康づくりの推進及び体力向上を図った。	4
	市民サービス	健康づくり等の推進による児童・生徒の健全育成を図った。	
効率性	コストの節減	バス借上げ等のための見積もり合わせを行うなど、コストの抑制に努めた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	大会出場にかかる交通方法。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	大会にかかる交通方法の見直し。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202030500		事業の種類	1		
年度	25	事務事業名	学校医等委嘱事業		予算事業名	学校医等委嘱事業		
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課			
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	能本 英樹		担当者名	石堂 賀人
取組み事項		健やかでたくましい体づくりをする		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		学校保健法(昭和三十三年四月十日法律第五十六号) 学校教育法(昭和二十二年法律第二十六号)						
事業の目的	誰のために(具体的に)	児童、生徒、学生及び園児並びに職員						
	誰(何)を対象として	児童、生徒、学生及び園児並びに職員						
	意図(どのような状態にしたいのか)	児童、生徒、学生及び園児並びに職員の健康の保持増進を図り、もつて学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的とする。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		園児、児童、生徒の健康管理のために学校医、学校歯科医及び学校薬剤師を委嘱する。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.140	0.144	103	0.104	72	0.104	100	
	臨時職員	0.000	0.004	-	0.008	200	0.012	150	
支出内訳	人件費	1,420,684	1,428,804	101	1,136,306	80	1,189,737	105	
	事業費	14,309,146	13,684,302	96	13,424,306	98	13,778,000	103	
	合計	15,729,830	15,113,106	96	14,560,612	96	14,967,737	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	15,729,830	15,113,106	96	14,560,612	96	14,967,737	103	
合計	15,729,830	15,113,106	96	14,560,612	96	14,967,737	103		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	児童、生徒、学生及び幼児並びに職員の健康の保持増進を図ることができた。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	法律に基づいた、健康管理が実施できた。	
効率性	コストの節減	効率的な予算執行を行った。	4
	執行体制の効率性	法律に基づいた執行体制を効率的に運営した。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

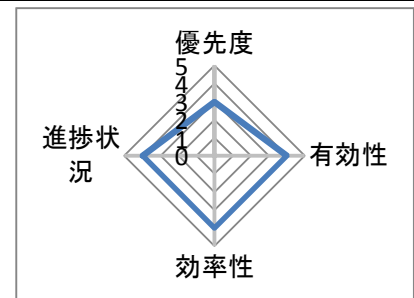
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	委嘱対象者の減による実施体制の検討

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	適切な学校医等の配置による実施



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202030600		事業の種類	1	
年度	25	事務事業名	児童・生徒等健康管理委託事業		予算事業名	児童・生徒等健康管理委託事業	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	能本 英樹	担当者名	石堂 賀人
取組み事項		健やかでたくましい体づくりをする		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		学校保健法(昭和三十三年四月十日法律第五十六号) 学校教育法(昭和二十二年法律第二十六号)					
事業の目的	誰のために(具体的に)	児童、生徒、学生及び幼児並びに職員					
	誰(何)を対象として	児童、生徒、学生及び幼児並びに職員					
	意図(どのような状態にしたいのか)	児童、生徒、学生及び幼児並びに職員の健康の保持増進を図り、もつて学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的とする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		児童、生徒、学生又は幼児及び職員の健康診断、環境衛生検査、安全点検その他の保健又は安全に関する事項について計画を立て、これを実施する。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	園児・児童・生徒心臓等検診	人	4758	4884	4573	4860	
	教職員健康診断	人	174	182	155	215	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.140	0.142	101	0.088	62	0.092	105	
	臨時職員	0.016	0.016	100	0.020	125	0.020	100	
支出内訳	人件費	1,458,236	1,442,192	99	1,042,606	72	1,113,581	107	
	事業費	5,809,036	5,766,306	99	5,322,616	92	7,338,000	138	
	合計	7,267,272	7,208,498	99	6,365,222	88	8,451,581	133	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	7,267,272	7,208,498	99	6,365,222	88	8,451,581	133	
合計	7,267,272	7,208,498	99	6,365,222	88	8,451,581	133		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	児童、生徒、学生及び幼児並びに職員の健康の保持増進を図った。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	法律に基づいた、健康診断等が実施できた。	
効率性	執行体制の効率性	法律に基づいた執行体制を効率的に運営した。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

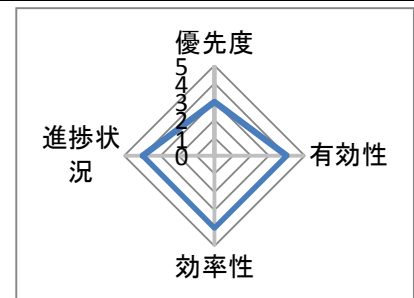
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	より効率的に児童・生徒・教職員の健康の保持増進を図る。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	健康診断等の効率的な実施。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202030700		事業の種類	1		
年度	25	事務事業名	学校健康センター事業		予算事業名	学校健康センター事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課			
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	能本 英樹	担当者名	森田 敏雄	
取組み事項		健やかでたくましい体づくりをする		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		独立行政法人日本スポーツ振興センター法(平成14年法律第162号)						
事業の目的	誰のために(具体的に)	義務教育諸学校等の管理下における児童、生徒等						
	誰(何)を対象として	義務教育諸学校等の管理下における児童、生徒等						
	意図(どのような状態にしたいのか)	義務教育諸学校等の管理下における児童、生徒等の災害に関する必要な給付						

2 事業の概要 Do

実施の概要		児童等の幼稚園、小・中学校における負傷、疾病などの災害につき、医療費等の災害共済給付を行う。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	加入数	人	2655	2492	2427	2400	
	給付実績	件	493	285	220	300	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.088	0.088	100	0.048	55	0.048	100	
	臨時職員	0.324	0.284	88	0.256	90	0.246	96	
支出内訳	人件費	1,770,572	1,669,100	94	1,311,202	79	1,331,319	102	
	事業費	2,203,290	2,132,985	97	2,073,850	97	2,155,000	104	
	合計	3,973,862	3,802,085	96	3,385,052	89	3,486,319	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,973,862	3,802,085	96	3,385,052	89	3,486,319	103	
合計	3,973,862	3,802,085	96	3,385,052	89	3,486,319	103		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

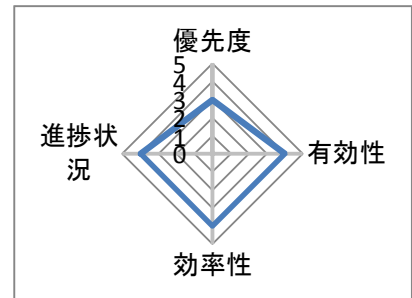
指標名1		災害等実施割合							
指標説明(式)		災害件数÷加入者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	17	19	111.8	9	47.4	8	88.9	
	実績	19	9	47.4	11	122.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	義務教育諸学校等の管理下における児童、生徒等の災害に関する必要な給付ができた。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	法律に基づいた災害共済給付(医療費、障害見舞金又は死亡見舞金の支給)を得ることができた。	
効率性	手段の最適性	法律に基づいた保険加入。	4
	執行体制の効率性	各学校による一括加入。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	法律に基づいた災害共済給付処理事務の適切な執行。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	適切な給付手続き事務処理による給付の実施。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202040100	事業の種類	4
年度	25	事務事業名	看護専門学校運営事業	予算事業名	看護専門学校運営事業 優先度 4
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	健康福祉部看護専門学校
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	山口 猛
取組み事項		地域医療に貢献できる人を育てる		担当者名	山口 猛
実施計画事業名				実施計画への記載	有
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		保健師助産師看護師法及び学校教育法			
事業の目的	誰のために(具体的に)	看護師を目指す学生			
	誰(何)を対象として	看護師を目指す学生が、看護師養成校に求めるニーズ			
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域社会に貢献しうる看護師を育成するために学生が学習しやすい環境作りをし、ひいては市のPR、活性化に貢献する			

2 事業の概要 Do

実施の概要		看護・介護サービスの拡充という、時代の要請に応じた専門性を持った優秀な人材を育成するため、入学試験受験者数の確保及び看護師国家試験の合格率の向上を図った。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	受験応募者数	人	290	306	292	225
	国家試験合格率	%	100	100	97.6	100

3 投入資源

会計区分 看護学校特別会計

事業費単位:円

インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	10.192	10.160	100	10.165	100	11.000	108	
	臨時職員	1.000	1.000	100	1.000	100	1.000	100	
支出内訳	人件費	83,128,224	81,185,776	98	80,896,685	100	91,192,189	113	
	事業費	22,711,000	21,337,846	94	18,484,490	87	22,520,000	122	
	合計	105,839,224	102,523,622	97	99,381,175	97	113,712,189	114	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	40,032,000	44,106,625	110	46,526,219	105	40,353,000	87	
	一般財源	65,807,224	58,416,997	89	52,854,956	90	73,359,189	139	
合計	105,839,224	102,523,622	97	99,381,175	97	113,712,189	114		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		看護師国家試験合格率の推移							
指標説明(式)		合格者数 ÷ 受験者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	97.6	97.6			
指標名2		看護師と准看護師の比率							
指標説明(式)		県が2年毎に集計(目標値は県平均値、実績値は西播磨医療圏域)平成2年調査時、県56%、西播磨41%							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	77	77	100.0	77	100.0	77	100.0	
	実績	68	70	102.9	70	100.0			

【効率性】

指標名1		学生一人当りコスト							
指標説明(式)		一般会計繰入金÷学生数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	515500	460083	89.2	460083	100.0	495392	107.7	
	実績	433219	424060	97.9	371715	87.7			

指標名2		事務経費							
指標説明(式)		報酬、給与費等、賃金、健康診断料、実習委託料を除く事務経費							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	11721000	10346000	88.3	7545000	72.9	7967000	105.6	
	実績	10168804	8912206	87.6	5722011	64.2			

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	入学試験の応募者数は前年度を若干下回った。 また、地域社会に貢献できる有能な看護職者の養成に努め、41名の卒業生のうち、40名が看護師国家試験に合格した。	5
	成果の向上	引続き進学説明会や学校訪問を行い、学生の確保を図っていきたい。	
効率性	コストの節減	行財政健全化の推進、経費節減により、一般会計からの繰入金は減少している。	4
	負担割合の適正化	使用料の見直し等については、近隣の学校の状況を勘案しながら行いたい。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね順調に推移している。	4

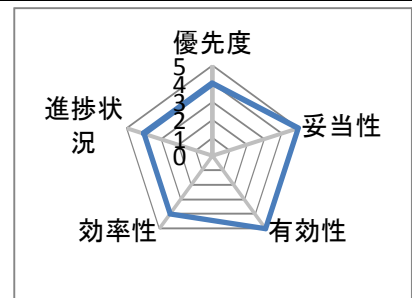
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	今後の教員の退職に対する体制の検討

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	教員の採用について、将来を見据えた計画的な採用を検討していく。



配点	32.5
総合評価	28.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202050100		事業の種類	4	
年度	25	事務事業名	教育特区事業		予算事業名	教育特区事業	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	企画総務部企画広報課		
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	松尾 次郎	担当者名	後藤 卓
取組み事項		充実した高等教育の環境づくり		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		構造改革特別区域法・相生市教育特区学校設置審議会条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	特区で事業を実施しようとする者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	構造改革特区法により株式会社立の学校を設置し、その学校を運営することにより生まれる効果を相生市の活性化に結び付ける。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生学院高等学校の認可者として、相生市教育特区学校設置審議会を開催し、学校運営等の評価及び学則変更の妥当性などの審議を行う。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	審議会開催数	回	1	2	1	1	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.136	0.084	62	0.084	100	0.080	95	
	臨時職員	0.060	0.040	67	0.040	100	0.040	100	
支出内訳	人件費	1,529,924	1,051,872	69	1,060,678	101	1,067,749	101	
	事業費	39,000	78,000	200	39,000	50	117,000	300	
	合計	1,568,924	1,129,872	72	1,099,678	97	1,184,749	108	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,568,924	1,129,872	72	1,099,678	97	1,184,749	108	
	合計	1,568,924	1,129,872	72	1,099,678	97	1,184,749	108	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		生徒数							
指標説明(式)		相生学院高等学校の生徒数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	300	400	133.3	400	100.0	570	142.5	
	実績	353	386	109.3	479	124.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		施設に対する維持管理経費							
指標説明(式)		相生市として支出する維持管理経費(維持修繕費等)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	-	-	-	-	-	-	-	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	相生学院高等学校は、テニス等のスポーツにおける知名度と様々な専門コースを設定することにより生徒数が増加し、収容定員である570人にせまっている。	4
	成果目標(改善)達成度	開校から5年が経過し、学校としての定着がみられ、着実に生徒数が増加している。また、地域との連携についても学校新聞などの発行により努力がみられる。	
効率性	手段の最適性	廃校となった相生中学校を民間事業者による利活用ができてきている点について、効率的と考える。	3
	執行体制の効率性	文部科学省及び兵庫県からの通知について、電子メールによる迅速な連絡を行うことで学校及び生徒への周知が効率的に行えている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	目的である一人ひとりのニーズに柔軟に対応した適正かつ安定した教育の場の創設し、生徒数の増加につなげている。	4

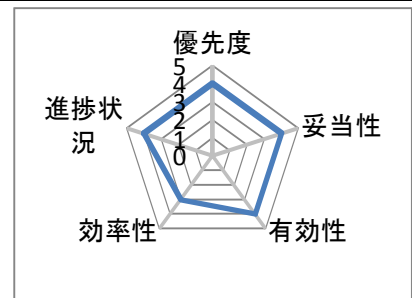
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	近隣市以外の生徒数の増加が大きいため、今後はさらに市内及び近隣市町の中学校との連携が必要である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	市内・近隣市町への情報発信を実施するよう指導する。



配点	32.5
総合評価	25

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203010100		事業の種類	4	
年度	25	事務事業名	小学校管理事業	予算事業名	小学校管理事業	優先度	4
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課		
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	宮崎 義正	担当者名	三浦 貴史
取組み事項		教育施設を整備する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		各学校事務用コンピュータ更新		教職員用パソコン更新			
		小学校学習机更新事業					
根拠法規及び関連法規		相生市立学校設置条例、学校教育法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	学校施設					
	誰(何)を対象として	施設運営管理					
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な施設管理運営により、教育環境を整備する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		良好な教育環境を確保するために小学校施設の管理運営を行う。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	学校数	校	7	7	7	7	
	児童数	人	1,398	1,351	1,345	1,360	
	学級数	クラス	71	69	68	70	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.352	0.352	100	0.376	107	0.349	93	
	臨時職員	0.200	0.200	100	0.200	100	0.200	100	
支出内訳	人件費	3,563,824	3,506,384	98	3,695,842	105	3,632,408	98	
	事業費	47,082,219	46,160,906	98	53,005,045	115	82,524,000	156	
	合計	50,646,043	49,667,290	98	56,700,887	114	86,156,408	152	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	50,646,043	49,667,290	98	56,700,887	114	86,156,408	152	
合計	50,646,043	49,667,290	98	56,700,887	114	86,156,408	152		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)		義務教育の根幹である小学校施設の一般管理経費							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		児童一人当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費決算額／児童数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標		49,335	-	44,117	89.4	60,679	137.5	
	実績	33,678	34,168	101.5	39,409	115.3			

指標名2		一校当たりのコスト							
指標説明(式)		事業決算額／7校							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標		9,521,706	-	8,100,127	85.1	1,2308,058	151.9	
	実績	7,235,149	7,095,327	98.1	8,100,127	114.2			

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	事業の増加により消耗品費等が不足している学校現場からの声があるが、成果目標は、ほぼ達成している。	4
	市民サービス	現状を維持している。	
効率性	コストの節減	学校現場の協力により、経費削減については徹底している。漏水についても、月3回程度、水道メーターの確認を行い早期発見、早期対応に努めており、25年度の漏水はかなり縮小できた。また、電気代についても、学校現場の努力により、使用量は減小傾向にある。	4
	執行体制の効率性	学校職員との連携強化により、詳細な現状把握に努めることにより、効率性を高めることができる。引き続き良好な関係を築くよう努める。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

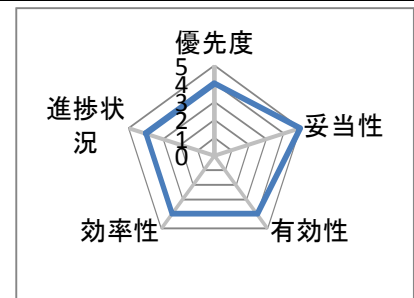
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	学校管理を維持するため、消費税増税に係る費用の増加については、予算に反映する必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	消費税増税が学校管理に直接的影響を招く消耗品費及び備品購入費について、増税分の増加を行う。



配点	32.5
総合評価	27.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203010200		事業の種類	4				
年度	25	事務事業名	中学校管理事業		予算事業名	中学校管理事業		優先度	3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会教育管理課				
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる			担当課長	宮崎 義正		担当者名	三浦 貴史	
取組み事項		教育施設を整備する			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無	
実施計画事業名		通学用マイクロバス運行管理委託			各中学校事務用コンピュータ更新					
		中学校学習机更新事業			教職員用パソコン更新					
根拠法規及び関連法規		相生市立学校設置条例、学校教育法								
事業の目的	誰のために(具体的に)	学校施設								
	誰(何)を対象として	施設運営管理								
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な施設管理運営により、教育環境を整備する。								

2 事業の概要 Do

実施の概要		良好な教育環境を確保するために中学校施設の管理運営を行う。								
活動実績	項目	単位	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画	
	学校数	校	3		3		3		3	
	生徒数	人	812		786		735		735	
	学級数	クラス	30		29		26		25	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.352	0.352	100	0.376	107	0.332	88	
	臨時職員	0.200	0.200	100	0.200	100	0.200	100	
支出内訳	人件費	3,563,824	3,506,384	98	3,695,842	105	3,495,881	95	
	事業費	24,266,630	24,179,708	100	35,233,841	146	27,476,000	78	
	合計	27,830,454	27,686,092	99	38,929,683	141	30,971,881	80	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	27,830,454	27,686,092	99	38,929,683	141	30,971,881	80	
合計	27,830,454	27,686,092	99	38,929,683	141	30,971,881	80		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1										
指標説明(式)		義務養育の根幹である中学校施設の管理経費								
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考	
	目標			-		-		-		
	実績			-		-		-		
指標名2										
指標説明(式)										
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考	
	目標			-		-		-		
	実績			-		-		-		

【効率性】

指標名1		生徒一人当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費決算額／生徒数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標		40,129	-	56,701	141.3	38,918	68.6	
	実績	29,885	30,763	102.9	47,937	155.8			

指標名2		一校当たりのコスト							
指標説明(式)		事業決算額／3校							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標		10,513,980	-	13,891,915	132.1	10,323,960	74.3	
	実績	9,276,818	9,228,697	99.5	12,976,561	140.6			

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	事業の増加により消耗品費等が不足している学校現場からの声があるが、成果目標は、ほぼ達成している。	4
	市民サービス	現状を維持している。	
効率性	コストの節減	学校現場の協力により、経費削減については徹底している。漏水についても、月3回程度、水道メーターの確認を行い早期発見、早期対応に努めており、25年度の漏水はかなり縮小できた。また、電気代についても、学校現場の努力により、使用量は減小傾向にある。	4
	執行体制の効率性	学校職員との連携強化により、詳細な現状把握に努めることにより、効率性を高めることができる。引き続き良好な関係を築くよう努める。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

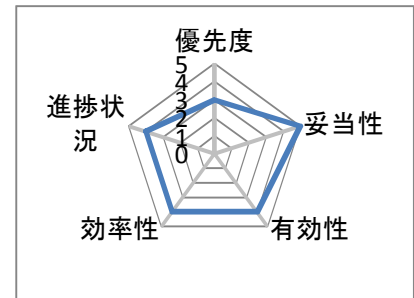
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	学校管理を維持するため、消費税増税に係る費用の増加については、予算に反映する必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	消費税増税が学校管理に直接的影響を招く消耗品費及び備品購入費について、増税分の増加を行う。



配点	32.5
総合評価	25.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203010300		事業の種類	4		
年度	25	事務事業名	幼稚園管理事業		予算事業名	幼稚園管理事業	優先度	4
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会教育管理課		
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる			担当課長	宮崎 義正	担当者名	三浦 貴史
取組み事項		教育施設を整備する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		各幼稚園事務用コンピュータ更新						
根拠法規及び関連法規		相生市立学校設置条例、学校教育法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	幼稚園施設						
	誰(何)を対象として	施設運営管理						
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な施設管理運営により、教育環境を整備する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		良好な教育環境を確保するために幼稚園施設の管理運営を行う。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	幼稚園数	園	6	6	6	6	
	園児数	人	446	449	433	420	
	クラス数	クラス	22	24	21	23	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.272	0.300	110	0.280	93	0.256	91	
	臨時職員	0.200	0.200	100	0.200	100	0.200	100	
支出内訳	人件費	2,932,224	3,104,736	106	2,957,890	95	2,885,525	98	
	事業費	9,886,291	9,891,868	100	9,910,585	100	10,896,000	110	
	合計	12,818,515	12,996,604	101	12,868,475	99	13,781,525	107	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	12,818,515	12,996,604	101	12,868,475	99	13,781,525	107	
合計	12,818,515	12,996,604	101	12,868,475	99	13,781,525	107		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		各年度の決算額							
指標説明(式)		事業費決算額							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
千円	目標		10,573	-	11,219	106.1	10,896	97.1	
	実績	9,886	9,892	100.1	9,911	100.2			
指標名2		1園当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費決算額/6園							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
千円	目標	-	-	-	-	-	2,296,921	-	
	実績	2,136,419	2,166,101	101.4	2,144,746	99.0			

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	ほぼ達成している。	4
	市民サービス	現状を維持している。	
効率性	コストの節減	幼稚園現場の協力により、経費削減については徹底している。漏水対策として、月3回程度メーター確認を行っており、早期発見、早期対応に努めている。	4
	執行体制の効率性	幼稚園職員との連携強化により、より効率性を高めると考える。引き続き良好な関係を築くよう努める。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

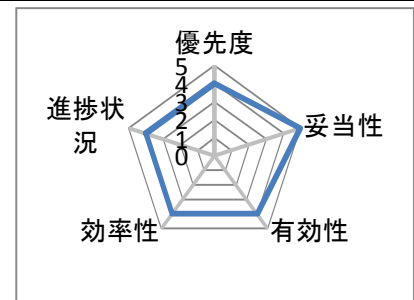
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	幼稚園管理を維持するため、消費税増税に係る費用の増加については、予算に反映する必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	消費税増税が学校管理に直接的影響を招く消耗品費及び備品購入費について、増税分の増加を行う。



配点	32.5
総合評価	27.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203010400		事業の種類	6		
年度	25	事務事業名	小学校施設整備事業		予算事業名	小学校施設整備事業	優先度	4
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会教育管理課		
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる			担当課長	宮崎義正	担当者名	名倉禎庸
取組み事項		教育施設を整備する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		小学校その他工事			若狭野小(東校舎)耐震(IS値0.53)			
		青小(北校舎)耐震(IS値0.38)			青小(本校舎)耐震(IS値0.47)			
		青小(南校舎)耐震(IS値0.49)			那波小(北校舎)耐震(IS値0.58)			
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	小学校児童						
	誰(何)を対象として	施設整備						
	意図(どのような状態にしたいのか)	安全安心な教育環境の整備						

2 事業の概要 Do

実施の概要		安全安心な教育環境を確保するために小学校施設の営繕工事を行う。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	維持修繕件数	件	72	69	57	57	
	工事請負件数	件	28	11	15	15	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.460	0.500	109	0.467	93	0.412	88	
	臨時職員	0.048	0.048	100	0.048	100	0.048	100	
支出内訳	人件費	4,059,740	4,284,280	106	4,024,327	94	3,754,257	93	
	事業費	79,341,284	211,708,122	267	90,510,325	43	66,500,000	73	
	合計	83,401,024	215,992,402	259	94,534,652	44	70,254,257	74	
財源内訳	国庫支出金		46,553,000	-		0		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	83,401,024	169,439,402	203	94,534,652	56	70,254,257	74	
	合計	83,401,024	215,992,402	259	94,534,652	44	70,254,257	74	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		耐震化率							
指標説明(式)		小学校施設の耐震化率							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	50	76.9	153.8	73.8	96.0	88	119.2	
	実績	54.5	63.6	116.7	72	113.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

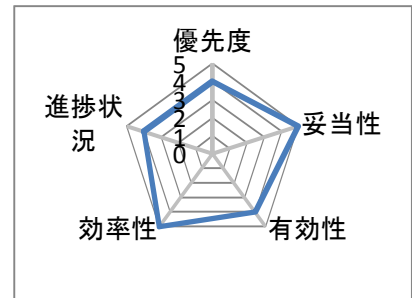
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	老朽化等による改修箇所が増加、緊急的な修繕対応の必要性等により、目標値の設定が困難である。	4
効率性	手段の最適性	平成27年度耐震化完了の計画に基づき、工事を進めている。また、施設の老朽化により改修箇所が増加していることや突発的な緊急修繕が必要な場合があるが、原則的には、適切な優先順位を持って改修を進めている。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	施設の老朽化等により、緊急的な想定外の修繕が発生するため、工事及び維持修繕を計画どおり進めることが困難となる場合がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	児童の安全を最優先に考え、優先順位を持って改修を進める。

配点	32.5
総合評価	28.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203010500		事業の種類	6		
年度	25	事務事業名	中学校施設整備事業		予算事業名	中学校施設整備事業	優先度	4
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会教育管理課		
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる			担当課長	宮崎義正	担当者名	名倉禎庸
取組み事項		教育施設を整備する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名		中学校その他工事			中学校施設整備			
		各中学校ろ材入れ替え			中学校非構造部材改修整備			
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	中学生徒						
	誰(何)を対象として	施設整備						
	意図(どのような状態にしたいのか)	安全安心な教育環境の整備						

2 事業の概要 Do

実施の概要		安全安心な教育環境を確保するために中学校施設の営繕工事を行う。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	維持修繕件数	件	44	45	32	32	
	工事請負件数	件	14	10	3	3	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.380	0.328	86	0.364	111	0.324	89	
	臨時職員	0.048	0.048	100	0.048	100	0.048	100	
支出内訳	人件費	3,428,140	2,955,752	86	3,232,566	109	3,047,529	94	
	事業費	255,083,445	31,485,940	12	28,220,125	90	18,000,000	64	
	合計	258,511,585	34,441,692	13	31,452,691	91	21,047,529	67	
財源内訳	国庫支出金	64,138,000		0		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	194,373,585	34,441,692	18	31,452,691	91	21,047,529	67	
合計	258,511,585	34,441,692	13	31,452,691	91	21,047,529	67		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		耐震化率							
指標説明(式)		中学校施設の耐震化率							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

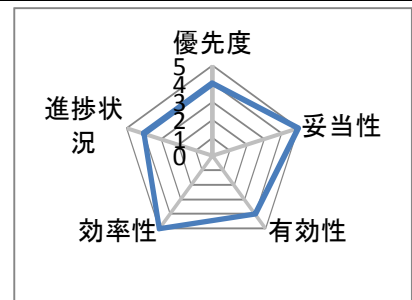
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	老朽化等による改修箇所が増加及び緊急的な修繕対応の必要性等により、目標値の設定が困難である。	4
効率性	手段の最適性	施設の老朽化等により改修箇所が増加していることや突発的な緊急修繕が必要な場合があるが、原則的には、適切な優先順位を持って改修を進めている。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	施設の老朽化等により、緊急的な想定外の修繕が発生するため、工事及び維持修繕を計画どおり進めることが困難となる場合がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	生徒の安全を最優先に考え、優先順位を持って改修を進める。

配点	32.5
総合評価	28.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203010600		事業の種類	6		
年度	25	事務事業名	幼稚園施設整備事業		予算事業名	幼稚園施設整備事業	優先度	4
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会教育管理課		
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる			担当課長	宮崎義正	担当者名	名倉禎庸
取組み事項		教育施設を整備する		実施計画への記載	有	主要事業の指定	有	
実施計画事業名		幼稚園その他工事		幼稚園施設整備				
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	幼稚園児						
	誰(何)を対象として	施設整備						
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な教育環境の整備						

2 事業の概要 Do

実施の概要		安全安心な教育環境を確保するために幼稚園施設の営繕工事を行う。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	維持修繕件数	件	13	13	16	16	
	工事請負件数	件	12	3	3	3	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.288	0.288	100	0.268	93	0.240	90	
	臨時職員	0.048	0.048	100	0.048	100	0.048	100	
支出内訳	人件費	2,701,800	2,646,792	98	2,494,614	94	2,372,925	95	
	事業費	12,100,035	2,267,225	19	2,287,027	101	2,400,000	105	
	合計	14,801,835	4,914,017	33	4,781,641	97	4,772,925	100	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	14,801,835	4,914,017	33	4,781,641	97	4,772,925	100	
合計	14,801,835	4,914,017	33	4,781,641	97	4,772,925	100		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		耐震化率							
指標説明(式)		幼稚園施設の耐震化率							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

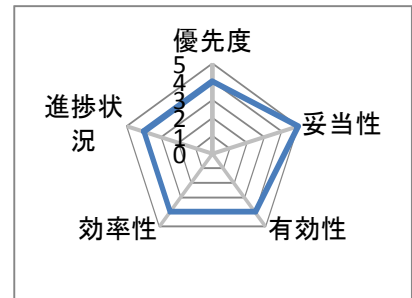
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	園舎は、学校施設の中では、比較的新しい建物が多いが、老朽化等による改修箇所が増加傾向にあるため、突発的な修繕の必要性により、目標値を設定することが困難である。	4
効率性	手段の最適性	老朽化してきている施設もあり、修繕箇所が増加していることや突発的な緊急修繕が必要な場合があるが、原則的には、適切な優先順位を持って改修を進めている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	耐震化の必要はないが、施設の老朽化が進んでいる施設もあり、老朽化に伴う修繕の必要性が増加している。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	園児の安全性を最優先に考え、適切な優先順位を持って改修を進める。

配点	32.5
総合評価	27.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203010700		事業の種類	2		
年度	25	事務事業名	学校教育施設整備基金事業		予算事業名	学校教育施設整備基金事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課			
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	宮崎 義正	担当者名	三浦 貴史	
取組み事項		教育施設を整備する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	学校施設						
	誰(何)を対象として	施設維持管理						
	意図(どのような状態にしたいのか)	教育環境整備を実施するための基金						

2 事業の概要 Do

実施の概要		学校施設の維持管理のために要する工事及び修繕等に必要な経費に充てる基金の積み立て、基金の活用を図る。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	積立額		1,235,803	1,236,037	1,961,662	1,961,789	
	基金総額		4,150,160	5,386,197	7,347,859	9,309,648	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.012	0.016	133	0.012	75	0.004	33	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	410,124	430,520	105	409,574	95	356,313	87	
	事業費	1,235,803	1,236,037	100	1,961,662	159	1,963,000	100	
	合計	1,645,927	1,666,557	101	2,371,236	142	2,319,313	98	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,645,927	1,666,557	101	2,371,236	142	2,319,313	98	
合計	1,645,927	1,666,557	101	2,371,236	142	2,319,313	98		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

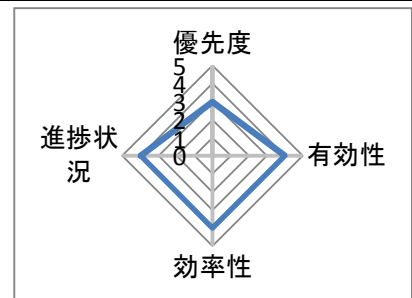
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	相生学院高校の賃借料の額を待つて積み立てをおこなっているが、平成25年1月に財政課による賃料の見直しが行われた。見直しにより積み立ての必要はなくなったが、基金の設置目的を達成するため、継続して基金の積み立てを行った。	4
効率性	手段の最適性	相生学院への貸付料の額を積み立てている為、手段は最適である。平成25年度より土地分貸付料額を積み立てている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203020100		事業の種類	4		
年度	25	事務事業名	相生市奨学金事業		予算事業名	相生市奨学金事業		
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課			
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	宮崎 義正		担当者名	三浦 貴史
取組み事項		教育の機会均等を確保する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		市奨学金基金条例、市奨学金支給規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	高等学校へ就学する生徒の保護者						
	誰(何)を対象として	学費、交通費						
	意図(どのような状態にしたいのか)	経済的援助を行う						

2 事業の概要 Do

実施の概要		高等学校等に在籍するもののうち、能力があるにもかかわらず、経済的理由により修学困難な者への援助を行う。						
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画		
	対象人員	人	27	40	34	34		

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.084	0.084	100	0.084	100	0.124	148	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	978,564	955,752	98	963,038	101	1,320,033	137	
	事業費	1,365,750	2,000,825	147	1,764,000	88	2,001,000	113	
	合計	2,344,314	2,956,577	126	2,727,038	92	3,321,033	122	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,344,314	2,956,577	126	2,727,038	92	3,321,033	122	
合計	2,344,314	2,956,577	126	2,727,038	92	3,321,033	122		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		申請者数(目標)と認定者数(実績)により、ニーズと達成度がわかる							
指標説明(式)		各々の前年比							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	27	40	148.1	34	85.0	34	100.0	
	実績	27	40	148.1	34	85.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		奨学生の認定方法							
指標説明(式)		申請世帯の収入状況を示す生活点と成績点を考え合わせ、教育委員会で決定する。							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	申請者が増加し、世帯の所得額も減少傾向にある。平成24年度より予算額を増加し、認定基準を明確化したことにより、事業目的の達成度が高くなったと考える。	5
	市民サービス	高い認定率を確保し、本来必要とする者への支援を行えたことにより、サービスの向上が図れた。	
効率性	コストの節減	制度利用を必要とする者へ支援するコストを充実させることにより市民サービス度が向上する。	4
	手段の最適性	成績及び所得の観点から判断しており、認定者の選定的手段としては、適正である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

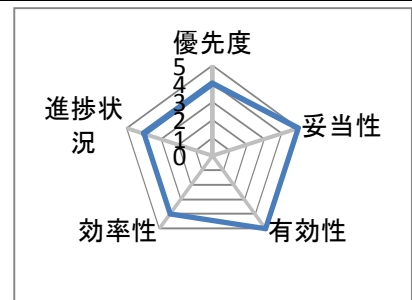
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	平成26年度より県による奨学金支給事業が創設されるため、当制度の支給項目及び支給額について重複する部分については、整理する必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	県の奨学金支給制度と重複する部分を廃止し、分かりやすい仕組みで支援できるよう制度の見直しを行った。



配点	32.5
総合評価	28.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203020200		事業の種類	1		
年度	25	事務事業名	小学校要・準要保護児童就学援助事業		予算事業名	小学校要・準要保護児童就学援助事業		
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課			
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	宮崎 義正		担当者名	永富 妃美
取組み事項		教育の機会均等を確保する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		補助金等適正化法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	経済的な理由により、学校への就学が困難な児童						
	誰(何)を対象として	学費の一部						
	意図(どのような状態にしたいのか)	経済的援助を行う						

2 事業の概要 Do

実施の概要		経済的な理由により学校への就学が困難な児童に対し、学用品費、通学費などの一部を支給し、支援をする。							
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画			
	対象(認定)人員	人	59	39	39	35			

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.136	0.128	94	0.121	95	0.108	89	
	臨時職員	0.000	0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	1,389,104	1,295,608	93	1,247,457	96	1,191,537	96	
	事業費	3,631,866	2,653,238	73	2,154,876	81	2,543,000	118	
	合計	5,020,970	3,948,846	79	3,402,333	86	3,734,537	110	
財源内訳	国庫支出金	12,000	0	0		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,008,970	3,948,846	79	3,402,333	86	3,734,537	110	
合計	5,020,970	3,948,846	79	3,402,333	86	3,734,537	110		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

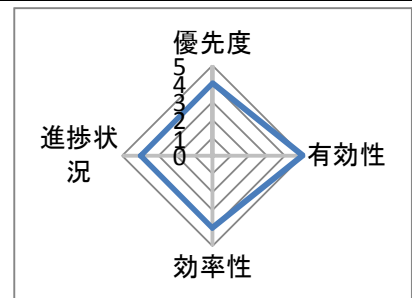
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	成果は達成している。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	法令の意図するものに合致している。	
効率性	コストの節減	国庫補助に準じた単価の設定をしているため、減額は不可能。	4
	執行体制の効率性	学校及び学校教育課との連携が不可欠。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	平成26年度消費税改定に伴う国庫補助額の改正があり、当事業の概要について再度周知する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	周知方法については、リーフレット等を作成し、当事業の概要について、広く市民に周知する。

配点	25
総合評価	21

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203020300		事業の種類	1		
年度	25	事務事業名	中学校要・準要保護生徒就学援助事業		予算事業名	中学校要・準要保護生徒就学援助事業		
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課			
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	宮崎 義正		担当者名	永富 妃美
取組み事項		教育の機会均等を確保する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		補助金等適正化法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	経済的な理由により、学校への就学が困難な生徒						
	誰(何)を対象として	学費の一部						
	意図(どのような状態にしたいのか)	経済的援助を行う						

2 事業の概要 Do

実施の概要		経済的な理由により学校への就学が困難な生徒に対し、学用品費、通学費など学費の一部を支給し、支援をする。						
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画		
	対象(認定)人員	人	65	47	50	37		

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.136	0.128	94	0.120	94	0.108	90	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	1,389,104	1,295,608	93	1,239,770	96	1,191,537	96	
	事業費	6,706,989	4,189,336	62	4,916,887	117	3,419,000	70	
	合計	8,096,093	5,484,944	68	6,156,657	112	4,610,537	75	
財源内訳	国庫支出金	0	91,000	-	-	0	-	-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	8,096,093	5,393,944	67	6,156,657	114	4,610,537	75	
合計	8,096,093	5,484,944	68	6,156,657	112	4,610,537	75		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

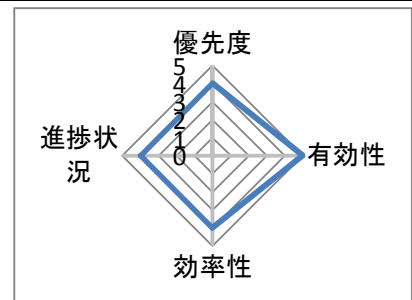
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	成果は達成している。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	法令の意図するものに合致している。	
効率性	コストの節減	国庫補助に準じた単価の設定をしているため、減額は不可能。	4
	執行体制の効率性	学校及び学校教育課との連携が不可欠。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	平成26年度消費税改定に伴う国庫補助額の改正があり、当事業の概要について再度周知する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	周知方法については、リーフレット等を作成し、当事業の概要について、広く市民に周知する。

配点	25
総合評価	21

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203020400	事業の種類	4	
年度	25	事務事業名	小学校通学費補助事業	予算事業名	小学校通学費補助事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課	
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	宮崎 義正	
取組み事項		教育の機会均等を確保する		担当者名	永富 妃美	
		実施計画への記載		無	主要事業の指定	無
実施計画事業名						
根拠法規及び関連法規		市通学費補助金交付規則				
事業の目的	誰のために(具体的に)	遠距離通学児童保護者				
	誰(何)を対象として	通学費				
	意図(どのような状態にしたいのか)	経済的な援助を行う				

2 事業の概要 Do

実施の概要		通学距離が3キロ以上でバス又は船舶を利用して通学する児童に対し、その経費の全額を補助する。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	対象人員	人	21	19	18	16

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.080	0.080	100	0.080	100	0.068	85	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	946,984	924,856	98	932,290	101	870,297	93	
	事業費	809,620	745,200	92	746,460	100	705,000	94	
	合計	1,756,604	1,670,056	95	1,678,750	101	1,575,297	94	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,756,604	1,670,056	95	1,678,750	101	1,575,297	94	
合計	1,756,604	1,670,056	95	1,678,750	101	1,575,297	94		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		対象児童者数							
指標説明(式)		対象人員							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	21	21	100.0	17	81.0	16	94.1	
	実績	21	19	90.5	18	94.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

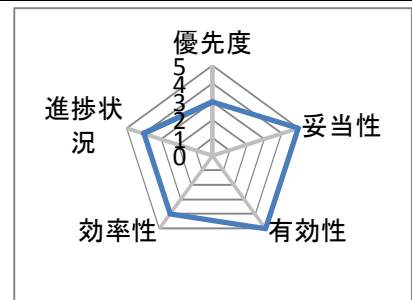
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	通学費を全額補助するという観点からは目標は達成している。	5
	市民サービス	平成23年度より全額補助としたことから保護者へのサービス度はより高くなっている。	
効率性	コストの節減	事業目的からも、コスト削減は困難。	4
	手段の最適性	補助金の支給については、学期ごとに行っており、適当である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	今後も当事業の概要について、広く周知し、現状どおり継続実施する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	周知方法については、リーフレット等を作成し、当事業の概要について、広く市民に周知する。

配点	32.5
総合評価	26.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203020500	事業の種類	4
年度	25	事務事業名	中学校通学費補助関係事業	予算事業名	中学校通学費補助関係事業
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち	担当部局名	教育委員会教育管理課	
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる	担当課長	宮崎 義正	担当者名
取組み事項		教育の機会均等を確保する	実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名					無
根拠法規及び関連法規		市通学費補助金交付規則			
事業の目的	誰のために(具体的に)	遠距離通学児童保護者			
	誰(何)を対象として	通学費			
	意図(どのような状態にしたいのか)	経済的な援助を行う			

2 事業の概要 Do

実施の概要		通学距離が5キロ以上でバス又は船舶を利用して通学する生徒に対し、その経費の全額を補助する。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	対象人員	人	6	2	2	2

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.080	0.080	100	0.080	100	0.052	65	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	946,984	924,856	98	932,290	101	741,801	80	
	事業費	211,500	151,520	72	133,350	88	167,000	125	
	合計	1,158,484	1,076,376	93	1,065,640	99	908,801	85	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,158,484	1,076,376	93	1,065,640	99	908,801	85	
合計	1,158,484	1,076,376	93	1,065,640	99	908,801	85		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		対象生徒者数							
指標説明(式)		対象人員							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	6	1	16.7	2	200.0	2	100.0	
	実績	6	2	33.3	2	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

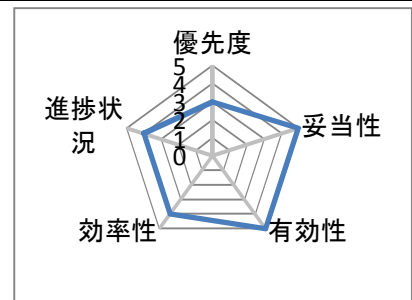
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	通学費を全額補助するという観点からは目標を達成している。	5
	市民サービス	平成23年度より全額補助としたことから保護者へのサービス度はより高くなっている。	
効率性	コストの節減	事業目的からもコスト削減は困難。	4
	手段の最適性	補助金の支給については、学期ごとに行っており、適当である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	今後も当事業の概要について、広く周知し、現状どおり継続実施する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	周知方法については、リーフレット等を作成し、当事業の概要について、広く市民に周知する。

配点	32.5
総合評価	26.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203030100		事業の種類	4		
年度	25	事務事業名	教育研究所運営事業		予算事業名	教育研究所運営事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課			
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	能本 英樹	担当者名	石堂 賀人	
取組み事項		子どものやる気を引き出す教職員を育成する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	学校教職員、幼稚園教諭						
	誰(何)を対象として	学校教職員、幼稚園教諭						
	意図(どのような状態にしたいのか)	研修等により学校教職員、幼稚園教諭の資質を向上させ、より充実した学校教育を推進する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		教育研究所を中心に、教科指導や生徒指導などの実践的指導力の向上を図る研修講座を実施し、優れた資質・能力を持った教職員の育成に努める。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	研修会開催	回	8	8	8	8	
	研修会開催	人	167	218	184	200	
	学校訪問指導	回	118	142	138	140	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.356	0.356	100	0.300	84	0.300	100	
	臨時職員	0.015	0.004	27	0.012	300	0.012	100	
支出内訳	人件費	3,161,209	3,066,292	97	2,652,722	87	2,763,813	104	
	事業費	3,669,655	3,536,360	96	3,151,843	89	3,811,000	121	
	合計	6,830,864	6,602,652	97	5,804,565	88	6,574,813	113	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,830,864	6,602,652	97	5,804,565	88	6,574,813	113	
	合計	6,830,864	6,602,652	97	5,804,565	88	6,574,813	113	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		研修講座1回当たりの参加人数							
指標説明(式)		参加人数÷回数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	20	20	100.0	25	125.0	25	100.0	
	実績	21	27	128.6	23	85.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

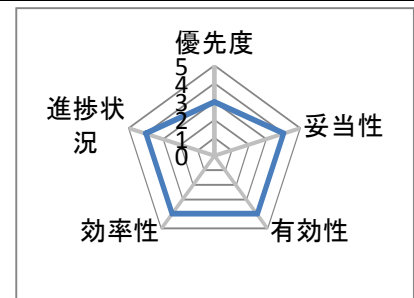
指標名1		研修講座1回当たりの参加人数							
指標説明(式)		研修参加教職員数÷実施回数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	20	20	100.0	25	125.0	25	100.0	
	実績	21	27	128.6	25	92.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	研究研修等により教職員の資質向上に有効であった。	4
	市民サービス	教職員の資質向上による保護者等の市民ニーズにある程度貢献できた。	
効率性	コストの節減	研修内容の見直しにより、コスト削減に努めた。	4
	手段の最適性	研究・研修により自主的な資質向上が図れた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	より効率的な教職員の資質向上を図る。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	講師への報償費の減額によるコストの削減。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203040100		事業の種類	5	
年度	25	事務事業名	私立幼稚園補助事業		予算事業名	私立幼稚園補助事業	
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	企画総務部総務課			
施策名(中)	安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	玉田 直人	担当者名	宮下 忠和	
取組み事項	子どもの育成環境の充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		学校法人補助金交付規則、私立幼稚園補助金交付要綱、私立幼稚園助成補助金交付要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	私立幼稚園就園児及びその保護者					
	誰(何)を対象として	私立幼稚園設置者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市内の私立幼稚園が健全な経営を行うことにより、幼稚園を選ぶ際に市民の選択肢が増え子育てを支援することになる。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		私立幼稚園補助、私立幼稚園就園奨励補助				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	私立幼稚園在籍人数	人	86	80	73	95
	私立幼稚園就園奨励対象人数	人	2	4	7	30

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.008	0.008	100	0.008	100	0.008	100	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	378,544	368,728	97	378,826	103	388,437	103	
	事業費	900,000	910,000	101	944,000	104	2,187,000	232	
	合計	1,278,544	1,278,728	100	1,322,826	103	2,575,437	195	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,278,544	1,278,728	100	1,322,826	103	2,575,437	195	
合計	1,278,544	1,278,728	100	1,322,826	103	2,575,437	195		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		私立幼稚園補助							
指標説明(式)		補助対象園児数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	95	95	100.0	95	100.0	95	100.0	
	実績	86	80	93.0	73	91.3			
指標名2		私立幼稚園就園奨励補助							
指標説明(式)		補助対象園児数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	6	6	100.0	11	183.3	30	272.7	
	実績	2	4	200.0	7	175.0			

【効率性】

指標名1		園児1人当たりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)/補助対象園児数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標		15815	-	19250	121.7	27109	140.8	
	実績	14867	15984	107.5	18120	113.4			

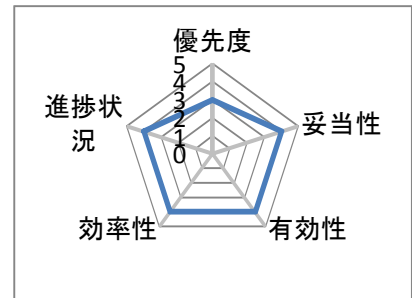
指標名2		補助金額(合計)							
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	150000	150000	100.0	545000	363.3	1237000	227.0	
	実績	40000	110000	275.0	214000	194.5			

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	請求件数に応じて増減するので、この数値を成果目標として捉えることは難しいと考えるが、私立幼稚園が健全な経営をすることにより、市民の選択肢が増えることが成果と考える。	4
	市民サービス	市内の私立幼稚園が健全な経営を行うことにより、市民の選択の幅が広がるため有効である。	
効率性	負担割合の適正化	H20年4月から補助単価の見直しを行った。私立幼稚園の健全な経営を図るという意味で適正であると考え。	4
	手段の最適性	私立学校振興助成法に基づく助成であり、国の制度及び近隣市町とのバランスからも最適であると考え。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	引き続き施策を実施していく	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	負担割合の適正化	私立幼稚園の健全な経営を図るという意味で適正であると考え。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	負担割合の適正化	社会情勢の変化に合わせ、補助基準の見直しを行う。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203040200		事業の種類	4	
年度	25	事務事業名	矢野川中学校区幼・小中学校園連携モデル事業		予算事業名	矢野川中学校区幼・小中学校園連携モデル事業	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	能本 英樹	担当者名	森田 敏雄
取組み事項		子どもの育成環境の充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	幼小中学校園の園児・児童・生徒					
	誰(何)を対象として	幼小中学校園の園児・児童・生徒					
	意図(どのような状態にしたいのか)	幼・小・中と12年間を通して継続的な教育を行い、子どもたちの能力を最大限に伸ばす。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		幼・小・中と12年間を通して継続的な教育を行い、子どもたちの能力を最大限に伸ばすため、合同の学校行事・授業、授業研究会、先進地視察等を実施する。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	対象者数			337	304	279	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.024	-	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員		0.164	-	0.176	107	0.180	102	
	臨時職員		0.000	-	0.004	-	0.004	100	
支出内訳	人件費		1,573,672	-	1,680,006	107	1,779,877	106	
	事業費			-	40,700	-	175,000	430	
	合計		1,573,672	-	1,720,706	109	1,954,877	114	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源		1,573,672	-	1,720,706	109	1,954,877	114	
合計		1,573,672	-	1,720,706	109	1,954,877	114		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

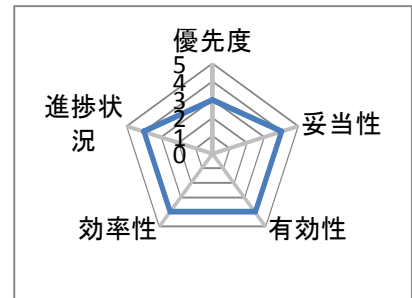
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	効果的な授業研究会、先進地視察等を実施した。	4
効率性	コストの節減	効率的な先進地視察を実施するなど、コストの節減に努めた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	より効果的な体制の整備。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	先進地等を参考にし、より効果的な体制を検討する。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203040800		事業の種類	4	
年度	25	事務事業名	預かり保育事業		予算事業名	預かり保育事業	
優先度	3		担当部局名	教育委員会教育管理課			
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当課長	宮崎 義正		担当者名	永富 妃美
施策名(中)	安心して学べる教育環境をつくる		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
取組み事項	子どもの育成環境の充実を図る						
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規	相生市立幼稚園預かり保育条例、相生市立幼稚園預かり保育条例施行規則、幼稚園教育要領(文科省)						
事業の目的	誰のために(具体的に)	預かり保育を希望する園児及び保護者					
	誰(何)を対象として	希望する園児					
	意図(どのような状態にしたいのか)	通常保育後の教育活動					

2 事業の概要 Do

実施の概要	希望する園児(4歳児及び5歳児)に対して通常保育終了後、16時30分まで延長して教育活動を実施する。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	月平均利用者数	人	67	76	79	80

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.144	0.148	103	0.144	97	0.108	75	
	臨時職員	2.562	1.724	67		0		-	
支出内訳	人件費	7,465,278	5,592,860	75	1,424,258	25	1,191,537	84	
	事業費	1,264,846	994,178	79	539,850	54	616,000	114	
	合計	8,730,124	6,587,038	75	1,964,108	30	1,807,537	92	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	2,275,000	4,070,000	179		0		-	
	一般財源	6,455,124	2,517,038	39	1,964,108	78	1,807,537	92	
合計	8,730,124	6,587,038	75	1,964,108	30	1,807,537	92		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	月平均利用者数								
指標説明(式)	全市立幼稚園における預かり保育月平均利用者数								
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標		70	-	73	104.3	80	109.6	
	実績	67	76	113.4	79	103.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

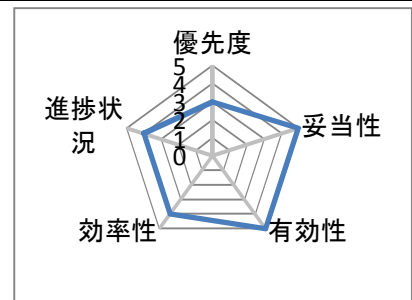
指標名1		利用者一人あたりのコスト							
指標説明(式)		総事業費決算額/利用者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	-	-	-	-	-	79,190	-	
	実績	130,300	87,987	67.5	82,616	93.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	サービス利用者が増加傾向にある。また、保護者からは、ゆとりを持って子育てを行うことができたなどの声も聞かれており、成果目標は達成している。	5
	市民サービス	利用者が増加傾向にあることからサービス度は高い。	
効率性	コストの節減	保育料とは別に教材費及びおやつ代を徴収しており、その費用を上手く活用し、運営している。消耗品費については、教育活動を行うための最小限の予算計上としている。	4
	執行体制の効率性	専門の支援員を雇用し、園長の指揮の下、事業運営している。利用者数に応じた指導員を状況により迅速に確保する必要がある。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	現時点においては、順調に事業を展開している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	更なる事業の拡充のため、状況を迅速に把握し、対応するため、代替指導員を確保する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	代替の支援員を確保し、指導員の休暇や緊急時の迅速な対応の整備に努める。

配点	32.5
総合評価	26.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203040900		事業の種類	4	
年度	25	事務事業名	市立幼稚園保育料軽減事業		予算事業名		
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課		
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	宮崎 義正	担当者名	三浦 貴史
取組み事項		子どもの育成環境の充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市立幼稚園入園料及び保育料徴収条例、相生市立幼稚園入園料及び保育料徴収条例施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市立幼稚園に通園する園児					
	誰(何)を対象として	相生市内に住所を有する園児					
	意図(どのような状態にしたいのか)	幼稚園への就園機会の拡充、園児数拡大による幼稚園教育の充実及び子育て世帯の経費の負担軽減					

2 事業の概要 Do

実施の概要		市内公立幼稚園に通園する市内に住所を有する園児の保育料を無料とする。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	園児数(5月1日現在)	人	446	449	433	420	
	就園率	%	61.6	62.5	60.3	59.9	

3 投入資源

		会計区分	事業費単位:円						
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.005	0.005	100	0.004	80	0.004	100	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	354,859	345,556	97	348,078	101	356,313	102	
	事業費			-	-	-	-	-	
	合計	354,859	345,556	97	348,078	101	356,313	102	
財源内訳	国庫支出金			-	-	-	-	-	
	県支出金			-	-	-	-	-	
	市債			-	-	-	-	-	
	その他			-	-	-	-	-	
	一般財源	354,859	345,556	97	348,078	101	356,313	102	
合計	354,859	345,556	97	348,078	101	356,313	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		相生市立幼稚園園児数							
指標説明(式)		5月1日現在の全6園総園児数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	446	449	100.7	433	96.4	420	97.0	
	実績	446	449	100.7	433	96.4			
指標名2		保育料無料化相当額							
指標説明(式)		市内に住所を有する園児に係る無料化相当額							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	31,860,000	31,626,000	99.3	30,960,000	97.9	30,084,000	97.2	
	実績	31,860,000	31,626,000	99.3	30,084,000	95.1			

【効率性】

指標名1		市外通園者数							
指標説明(式)		市外に住所を有する者からの保育料徴収件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	10	10	100.0	15	150.0	11	73.3	
	実績	4	11	275.0	15	136.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	3年保育を実施しており、市外からの通園者も増加傾向にある。市内園児の就園率については、当事業実施後も大きな変化はないが、効果が現れるまでには時間が掛かると判断している。	5
	市民サービス	月額6,000円であった保育料を無料としたことで、子育て世帯の経費負担の軽減が図れた。	
効率性	手段の最適性	市内通園者は保育料を無料としているが、市外通園者は従来どおり月額6,000円の保育料を徴収している。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	保護者より評価を得ており、目的に沿った事業運営が図られている。	4

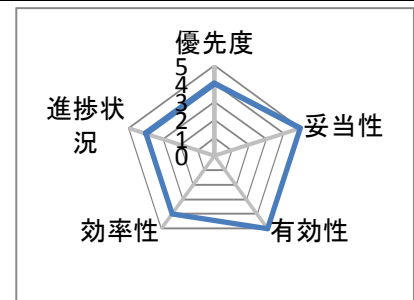
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	家庭の事情等により就学前児童の通園先は固定されているため、近々での就園率の増加は困難な状況にある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	市外からの入園者もターゲットとするため、保護者向けの相生市が行う子育て支援事業の情報発信に努める。



配点	32.5
総合評価	28.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010203041000		事業の種類	4		
年度	25	事務事業名	矢野・若狭野小学校交流事業		予算事業名	矢野・若狭野小学校交流事業 優先度		
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課			
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	能本 英樹		担当者名	森田 敏雄
取組み事項		子どもの育成環境の充実を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	矢野小学校、若狭野小学校の児童						
	誰(何)を対象として	矢野小学校、若狭野小学校の児童						
	意図(どのような状態にしたいのか)	合同授業等を行うなどの交流を続け、教育的な効果が得られるようにする。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		学年単位で合同授業及び行事を実施し、両校の児童間の交流を図る。						
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画		
	実施回数	回			18	18		

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.026	-	0.027	104	
	参事以下職員			-	0.012	-	0.012	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費			-	409,574	-	420,561	103	
	事業費			-	69,300	-	174,000	251	
	合計			-	478,874	-	594,561	124	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源			-	478,874	-	594,561	124	
合計				-	478,874	-	594,561	124	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

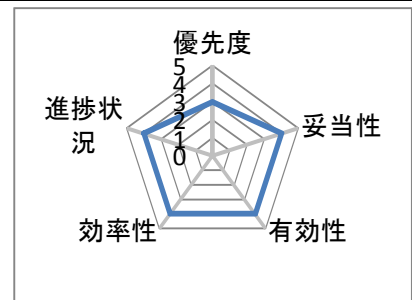
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	学習集団の変化による、学習意欲の高まりと子ども同士の学び合いの活性化。	4
効率性	手段の最適性	長期的な視野で、より教育的な効果が得られる授業。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	教育的な効果が得られる授業。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	移動手段の方法。

配点	32.5
総合評価	24